

(別紙)

平成25年度北海道地域マッチングフォーラム開催要領

北海道の農畜産業強化に向けたイアコーンサイレージ生産利用技術の新たな展開
～国産イアコーンを地域資源として活用するために～

1. 趣旨

農業研究の成果の農業現場等への迅速な普及・実用化を促進することにより地域農業の振興を図るため、研究者、普及指導員、生産者、行政担当者、実需者等が双方向の意見・情報交換を行う地域マッチングフォーラムを開催いたします。

平成25年度は、昨今、道内で生産利用が増加しているイアコーンサイレージについて、TMRセンターにおける生産事例を紹介するとともに、これまでの研究成果を報告します。また、酪農・畜産の6次産業化や新たな地域産業の創出に向け、イアコーンサイレージ等自給飼料生産の果たす役割について、パネリストに話題提供者および普及指導機関やコントラクター事業者等を迎え、活発な意見交換を行い、研究成果の普及や実用化に向けて効果的なマッチングを行うこととします。

2. 開催日時：平成25年11月22日（金） 13：15～17：15（受付12：00～）

3. 開催場所：とちちプラザ レインボーホール
（〒080-0014 北海道帯広市西4条南13丁目1番地）

4. 主催：農林水産省農林水産技術会議事務局、農研機構 北海道農業研究センター

協賛：農林水産省北海道農政事務所、国土交通省北海道開発局、北海道、道総研 農業研究本部、
家畜改良センター十勝牧場、ホクレン農業協同組合連合会、十勝農業協同組合連合会、北海道自給飼料改善協議会、北海道コントラクター組織連絡協議会、北海道畜産草地学会、
NPO法人グリーンテクノバンク

5. 対象：生産者（生産者団体を含む）、行政・普及関係者、研究関係者、関係団体・企業、
その他自給飼料の生産利用に関心のある方

6. 参加料：無料

7. 参加定員：200名

8. 議事次第

総合司会：農研機構 北海道農業研究センター企画管理部長

(1) 開会挨拶 (13：15～13：25)

農林水産省農林水産技術会議事務局
農研機構 北海道農業研究センター所長

(2) 講演 (13：25～16：10)

座長：農研機構 北海道農業研究センター酪農研究領域長 池田哲也

1) TMRセンターにおけるイアコーンサイレージ生産利用技術の導入効果と今後の展望
(有) ジェネシス美瑛 代表取締役社長 浦 敏男 (13：25～14：10)

2) プレミアムイアコーン利用による農業高校ブランド畜産物創出への挑戦
～資源循環型畜産を目指した帯広農業高校の取り組み
北海道帯広農業高等学校 酪農科学科主任 織井 恒 (14：10～14：35)

3) イアコーンサイレージを取り入れた肉用牛向け飼料メニューの開発
家畜改良センター十勝牧場 業務第一課種牛係長 浅田正嗣 (14：35～15：00)
— 休憩 (10分) —

4) イアコーンサイレージの生産利用技術の開発研究の現状と課題
農研機構 北海道農業研究センター酪農研究領域 主任研究員 青木康浩
(15：10～15：35)

5) イアコーン生産・利用による耕畜連携の経済性評価と普及・定着に当たっての課題
道総研 十勝農業試験場生産システムG 研究主任 山田洋文 (15:35~16:00)

(3) パネルディスカッション (16:05~17:15)
座長：農研機構 北海道農業研究センター酪農研究領域 上席研究員 大下友子

パネリスト：各講演者

北海道農政部生産振興局技術普及課

上席普及指導員 西海 豊顕

(株) 共成レンテムアグリ事業部農機事業所

所長 石田 和徳

ホクレン農業協同組合連合会飼料部自給飼料課

主任技師 大塚 博志

(4) 閉 会

【問い合わせ先】

○マッチングフォーラム事務局

〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

農研機構 北海道農業研究センター 情報広報課長 関谷修三

TEL. 011-857-9260

FAX. 011-859-2178

*なお、マッチングフォーラム閉会后(18時~)、ホテル日航ノースランド帯広(帯広市西2条南13丁目1番地)にて参加者との交流会を開催する予定です。定員:80名、参加費:5,000円です。

交流会ではイアコーンサイレージを給与して生産した乳・肉を試食して頂く予定です。こちらにも奮ってご参加下さい。